

女性がかかりやすい病気に「膀胱炎」があります。女性は男性と違って肛門と尿道との間隔が短く、尿道も短いので大腸菌などの細菌が膀胱に入りやすいからです。

典型的な症状は頻尿や残尿感、排尿時痛など。進行すると炎症をおこした膀胱粘膜から血尿が出ることもあります。

泌尿器講座

膀胱炎と腎盂腎炎



いいい腎泌尿器科クリニック院長
石井 達矢

●(いいい-たつや)1999年(平成11年)山形大学医学部卒業。同大附属病院、市立病院済生館、公立置賜総合病院勤務などを経て2020年5月いいい腎泌尿器科クリニックを開業。医学博士、日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、日本医師会認定産業医。

膀胱炎から腎盂腎炎も

原則として膀胱炎で38度を超す発熱を来すことはありませんが、典型的な症状に続いて高熱や左右どちらかの腰痛が生じる場合は「腎盂腎炎」の可能性もあります。

尿道口から侵入した細菌が尿管をさかのぼって

腎盂まで到達すると腎盂腎炎を発症します。腎実質まで感染が波及すると「急性巣状細菌性腎炎」という状態になり、放置すると「敗血症」や「腎膿瘍」などに重症化することがあります。

まずは血液検査

腎盂腎炎が疑われる場合は血液検査で白血球やCRPの数値でどのくらい重症なのかを調べます。超音波検査では腎臓の尿の流れが閉塞してはいないかが確認できます。

尿管結石や腫瘍などで尿管の閉塞を伴う場合、腎盂腎炎は敗血症からDICという多臓器不全一歩手前の状態に陥りや

すく、閉塞した尿路を開放するための処置や手術が必要になります。

治療は抗生剤投与

膀胱炎や腎盂腎炎の治療は尿中の細菌を駆逐するため抗生剤を投与します。炎症反応が強い腎盂腎炎では入院の上で点滴による抗生剤投与が必要なものもあります。膀胱炎や軽症の腎盂腎炎では経口抗生剤で治ります。

防ぐためには

膀胱炎を防ぐには①免疫力が落ちないように十分な栄養と睡眠をとる②排便後は前から後ろに拭く③温水洗浄便座の水は減

〈泌尿器科・内科〉
いいい腎泌尿器科クリニック
 ☎023-616-3601 山形市桜田西4-17-49

●診療時間
 午前/9時00分～12時30分
 午後/14時30分～18時00分

●休診日
 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

菌水ではないので、排便後の洗浄は避ける④性交の後はずぐに排尿する⑤生理用品はこまめに替える——などを心がけましょう。